

平成18年12月 試験研究業務月報



受胎により和牛増頭にも貢献

課題名 リフレッシュ放牧牛を農家に返却

要 旨

和牛繁殖農家の経済的損失の要因となっている長期不受胎牛を放牧により受胎させる試験に取り組んでいます。

今年度は、試験牛9頭を6月12日から11月24日までの165日間放牧し、その内7頭が受胎して農家に返却したところ、農家にたいへん喜ばれました。

京都府畜産技術センター
(碓高原牧場)